

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ウィズ・ユー西新井 放課後等デイサービス		令和8年 3月 9日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		欠席の把握をし、職員の配置を臨機応変に変更している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		生活空間は児童が分かりやすいように印をつけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日、掃除や消毒を行なっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		相談室などを利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		毎日、夕礼で振り返りを実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎年実施し、集計して意見の把握をしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎日、朝礼や夕礼を行なっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3	第三者評価は行っていないが、年に一度アンケートを実施して改善に向けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		研修を定期的に行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		ホームページに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		特別な支援が必要な児童に対しては専用の記録ノートを作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		職員の意見を聞き、計画書に乗せるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		ファイルやシステムを通してアセスメントや計画書を閲覧できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		ガイドラインの研修は年に2回行ない、周知している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		1か月に1回予定を立て、その日の利用児童に合わせて変更もしている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		職員会議を実施して意見を出し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		集団療育を主としているが、必要時は個別に対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		朝礼を毎日行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		夕礼を毎日行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		毎日記録を書き、保護者にも公開している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		必要時には面談を行ない、見直しを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	10		自立支援、創作的活動、余暇は意識しているが、地域交流の機会は少ない。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		創作的活動のテーマを児童に相談して決めてもらうこともある。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		管理者や児発管が主に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		送迎時、道路混雑などで遅れる場合には連絡をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		必要時には連絡を取るようになっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	1	経験が浅いため、実績なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5	外出イベントや公園遊びで関わることもある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		保護者との情報共有を随時行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		子どもと話す機会を作っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		契約時に説明している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		学校や児童相談所への対応の仕方を保護者に伝えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	クリスマス会等の実施等で、交流や公開をしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情の窓口を契約時に伝えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		システムを利用し保護者に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		鍵付き書庫で管理をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		非言語的ツールで活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3	個人情報や安全面を考慮しながら行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		研修で実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時にアセスメントを取っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		日々の特記事項に支店をおき、支援を行なっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		Hug等を通して連絡を取っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		研修等を通して行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		適切に対応を行なっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		実施の場合は計画書に組み入れ、早期の解除ができる様に取り組んでいる。	